

日本史

■出題のねらい

I

原始・古代から出題しました。Aでは、縄文時代から平安時代にかけての朝鮮半島との交流についてのリード文をもとに、中国の歴史書なども含めて基本的知識を問いました。Bでは、遣隋使についてのリード文をもとに、歴史上の人物についての知識を中心に問いました。

II

中世・近世から出題しました。Aでは、鎌倉時代の文化をテーマとしたリード文をもとに、鎌倉仏教や文学についての知識を問いました。Bでは、江戸時代の化政文化をテーマとしたリード文をもとに、文化史・社会経済史など幅広く問いました。

III

近現代から出題しました。Aでは、大日本帝国憲法制定にいたるまでの歴史を概観するリード文をもとに、明治十四年の政変や自由民権運動など、政治史を中心に問いました。Bでは、大正時代の社会運動をテーマとしたリード文をもとに、社会運動の背景などを問いました。

IV

奈良時代の政変、室町時代に発展した農業、戦後の高度経済成長など、時代や分野を限定せず基本事項を幅広く出題しました。

■採点講評

正答率が高かった（80%以上）問題は設問11、16、17です。

正答率が低かった（20%以下）問題は設問4、10、13、18、22、27、29、30、35、39、40です。

各問題の解説は以下の通りです。

大問	解答 番号	正解	解 説
I	1	④	④豪族の私有地は田荘。 ⑥屯倉は大王家の直轄地。
	2	①	①豪族の私有民は部曲。 ⑤田部は屯倉の耕作民。
	3	③	③寄進地系荘園では開発領主が荘官となり荘園を管理する者が多かった。 ②在庁官人は国衙の実務を担った現地採用の役人のこと。
	4	④	X誤り。遙任国司とは任地に赴任しない国司のこと。遙任の際に任地に派遣されたのは目代。Y誤り。藤原元命ではなく藤原陳忠。藤原元命は尾張郡司百姓等解で非法を訴えられた国司。
	5	③	①本家ではなく領家。領家が寄進した有力寺院・貴族を本家という。 ②大蔵省ではなく民部省。 ④勘解由使ではなく検田使など。勘解由使は国司交替の際の不正の防止のために解由状の確認などを行う令外官。
	6	②	②斉明天皇のときに派遣されたのは阿倍比羅夫。 ④紀古佐美は桓武天皇のもとで征東大使をつとめた。
	7	⑤	⑤藤原式家の祖は藤原宇合。 ⑥藤原房前は藤原氏北家の祖。
	8	①	①陸奥の豪族は安倍氏。 ③蠣崎氏は蝦夷の豪族。
	9	④	①推古天皇ではなく皇極天皇。 ②孝徳天皇のときの出来事。 ③難波宮ではなく朝倉宮（福岡県）である。
II	10	⑤	⑤ポルトガルの拠点はマラッカ。 ④マニラはスペインの東アジア貿易における拠点。
	11	①	①天正遣欧使節を率いたのはヴァリニャーニ。 ②オルガンティノは織田信長の信任を得て、京都に南蛮寺を建立したイエズス会の宣教師。
	12	③	③土佐に漂着したのはサン=フェリペ号。 ⑥リーフデ号は1600年に豊後に漂着したオランダ船。

大問	解答 番号	正解	解 説
Ⅱ	13	①	②慶長勅版ではなくキリシタン版（天草版）。慶長勅版は後陽成天皇の命で木製の活字を用いて出版された書物の総称。 ③『松林図屏風』ではなく南蛮屏風。 ④日本からの輸出品は金ではなく銀。
	14	④	④金地院崇伝は1633年に死去しており、諸社禰宜神主法度（1665年）を起草してはいない。
	15	③	③林子平が著したのは『海国兵談』。 ①『赤蝦夷風説考』は工藤平助が田沼意次に献じた著書。
	16	⑤	⑤千島探査に派遣されたのは近藤重蔵。 ②伊能忠敬は全国を測量して『大日本沿海輿地全図』を作成した。
	17	⑥	⑥長崎に来航し通商を要求したのはレザノフ。 ④ゴローニンがロシア軍艦の艦長。日本の警備兵に捕らえられ、のち釈放された。
	18	①	②堀田正睦ではなく阿部正弘（安政の改革）。 ③高島秋帆ではなく江川太郎左衛門。高島秋帆は江川太郎左衛門らに砲術を教授した砲術家。 ④ゴローニン事件後に日露関係が改善されたことから、蝦夷地は松前藩に還付された。
Ⅲ	19	②	②陸軍は軍部大臣現役武官制を盾に後任の陸相を推薦しなかった。
	20	⑥	桂太郎の死後に、加藤高明を総裁に立憲同志会が結成された。
	21	⑤	第3次桂内閣退陣後、立憲政友会を与党に第1次山本権兵衛内閣が成立した。
	22	④	①進歩党ではなく憲政党。進歩党と自由党が合同して憲政党が結成された。 ②第二次護憲運動の際に非主流派が支持していたのは清浦奎吾内閣。 ③憲政会ではなく、憲政会と政友本党が合同して結成された立憲民政党。
	23	③	①②④第2次桂太郎内閣のときの出来事。
	24	④	①立憲帝政党ではなく立憲改進黨。立憲帝政党の党首は福地源一郎。 ②蛮勇演説ではなく共和演説。蛮勇演説が問題となったのは第1次松方正義内閣の海相樺山資紀。 ③第一次護憲運動で掲げられたのは「閥族打破・憲政擁護」。「臥薪嘗胆」は三国干渉後に政府が掲げ、これにより国民の反露感情をあおった。
	25	⑥	学制はフランス系の学校制度になったものであった。
	26	②	1879年、アメリカの教育制度を参考にした教育令が公布された。
	27	①	1886年、初代文相森有礼のもとでドイツ式の学校令が公布された。

大問	解答 番号	正解	解 説
Ⅲ	28	②	X正しい。Y誤り。植木枝盛に関する内容。
	29	③	X誤り。副島種臣ではなく元田永孚。副島種臣は政体書を起草した。Y正しい。
	30	①	②理工医学系・教員養成系の学生は引き続き徴兵が免除された。 ③女子挺身隊は労働力不足を補うための組織で、軍需工場などに未婚女性を動員した。 ④国民学校の児童は勤労働員の対象ではない。
Ⅳ	31	④	①木鋤 ②木鋤は耕作具 ③田下駄は水田での足の沈下を防ぐ道具である。
	32	②	X正しい。Y誤り。「旧辞」「帝紀」ではなく「天皇記」「国記」。「旧辞」「帝紀」は欽明天皇のときに完成したとされる。
	33	①	②『群書類従』ではなく『類聚国史』。『群書類従』は江戸時代に塙保己一が編纂した。 ③大祓ではなく御霊会。大祓は心身の穢れなどを払い清める儀式のこと。 ④国風文化期ではなく鎌倉時代である。
	34	④	初代執権北条時政のもとで、 ①梶原景時は1200年に敗死、②比企能員は1203年に謀殺された。 ③三浦泰村は5代執権北条時頼に滅ぼされた（宝治合戦）。
	35	②	①三浦の乱ではなく寧波の乱。三浦の乱は三浦に住む日本人が起こした反乱。 ③尚巴志は中山王であった。 ④シャクシャインではなくコシャマイン。シャクシャインは17世紀中頃に反乱を起こしたアイヌの首長。
	36	③	①歌川広重、②葛飾北斎は化政文化期に活躍した浮世絵師。 ④菱川師宣は元禄期に浮世絵を創始した人物。
	37	①	②引き続き片務的最恵国待遇がとられることが確認された。 ③ドイツではなくオランダ（安政の五カ国条約）。 ④改税約書によって関税率のうち輸入税は引下げられた。
	38	④	X誤り。器械製糸と座繰製糸が逆である。Y誤り。鉄道国有法の公布は1906年で、日露戦争後のことである。
	39	③	①済南事件は第2次山東出兵の際の日本軍と国民革命軍の武力衝突である。 ②張鼓峰事件はソ連と満州の国境付近である張鼓峰で起こった日ソ間の軍事衝突。 ④柳条湖事件は満州事変の端緒となった軍事衝突。

大問	解答 番号	正解	解 説
Ⅳ	40	③	<p>①五大改革指令ではなく人権指令。五大改革指令は幣原内閣に対して出された。</p> <p>②第二次農地改革は第1次吉田茂内閣のもとで行われた。</p> <p>④1946年4月の総選挙のときには日本国憲法はまだ施行されていない。</p>